

5. 事業計画の変更内容及び事業の進捗状況

5.1 事業計画の変更内容及び理由

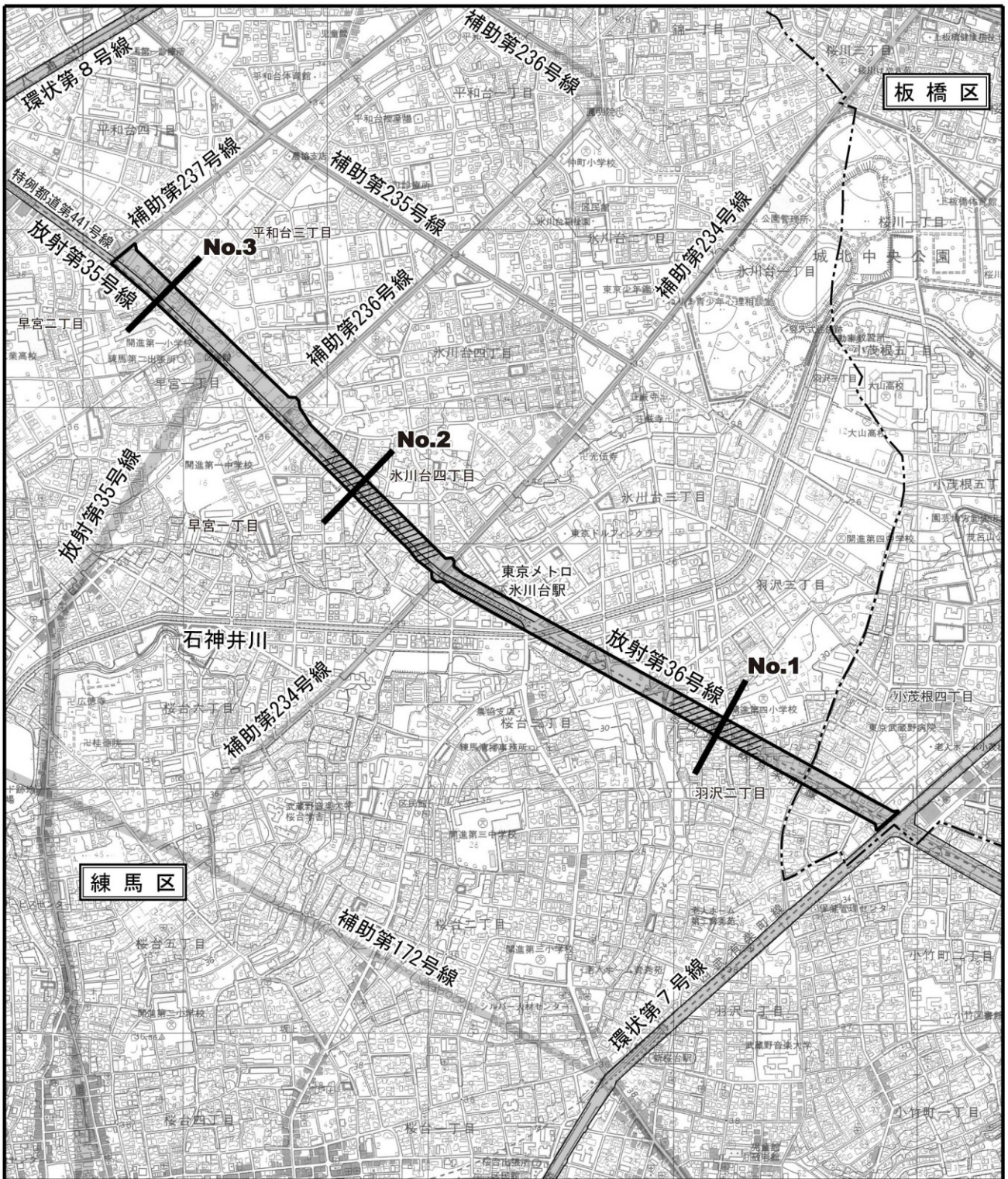
事業計画の変更として、計画道路付近の一部の地形は計画道路の北側と南側で高低差があることから、道路と沿道・宅地との高さを合わせるため、中央帯を境に上り線と下り線で道路の高さを変える。また、関係機関との協議により車道及び中央帯の幅員を変更する。これらに伴い、遮音壁の設置位置を変更する。

変更の概要は、表 5-1、図 5-1、図 5-2(1)～(3)に示すとおりである。






また、用地取得の遅れ等の理由により、表 5-2 及び表 5-3 に示すとおり、橋梁部の工事の時期を変更する。

表 5-1 変更の概要

項目	変更後	変更前
道路の構造	平面構造 (一部、中央帯を境に上下線で高低差を設ける)	平面構造
車道及び中央帯の幅員	【No.1、No.2】 車道 8.5m×2 中央帯 3.0m 【No.3】 車道 8.5m×2 中央帯 13.0m	【No.1、No.2】 車道 9.0m×2 中央帯 2.0m 【No.3】 車道 9.0m×2 中央帯 12.0m
遮音壁の設置位置	【No.2】 環境施設帯に加え、中央帯に遮音壁を設置する。 【No.3】 環境施設帯に遮音壁を設置する。	環境施設帯に遮音壁を設置する。



凡例

-  : 計画道路
-  : 区界
-  : 都市計画道路
※図中の都市計画道路は概ねの位置を表したものです。
-  : 予測断面
-  : 上下線で高低差を設ける区間

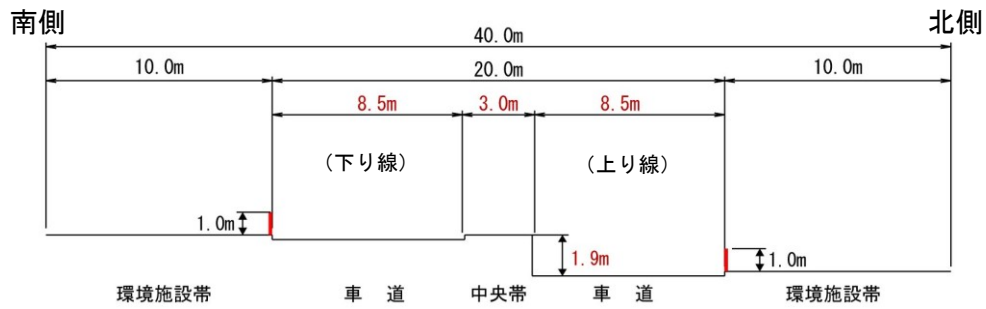


S = 1 : 12,000



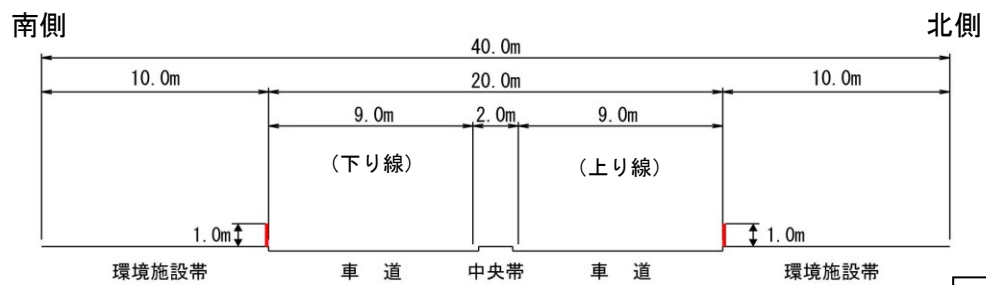
図 5-1 変更概要図

【変更後】



※赤文字は変更箇所を示す。

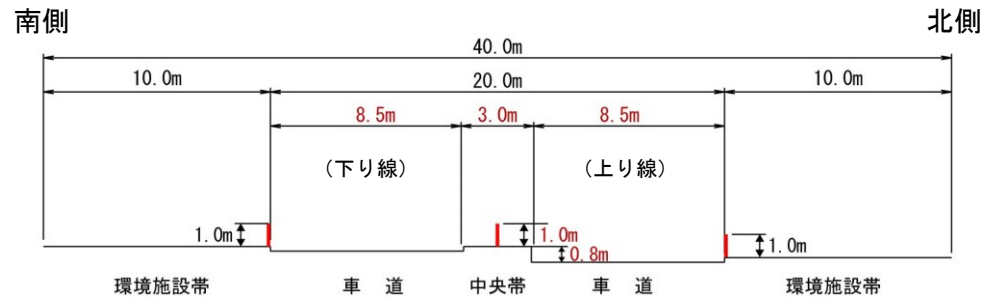
【変更前】



凡例
| : 遮音壁

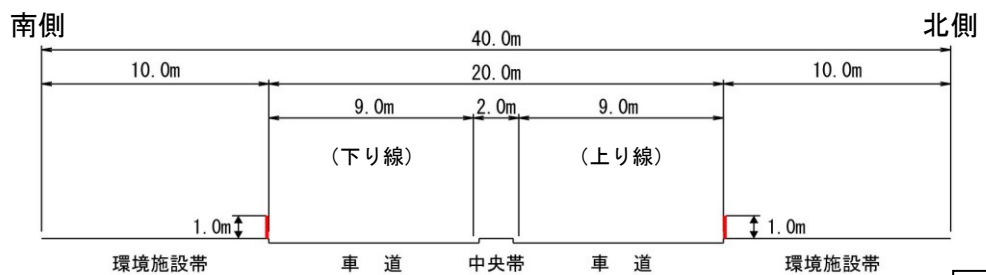
図 5-2(1) 予測地点断面図 (No.1)

【変更後】



※赤文字は変更箇所を示す。

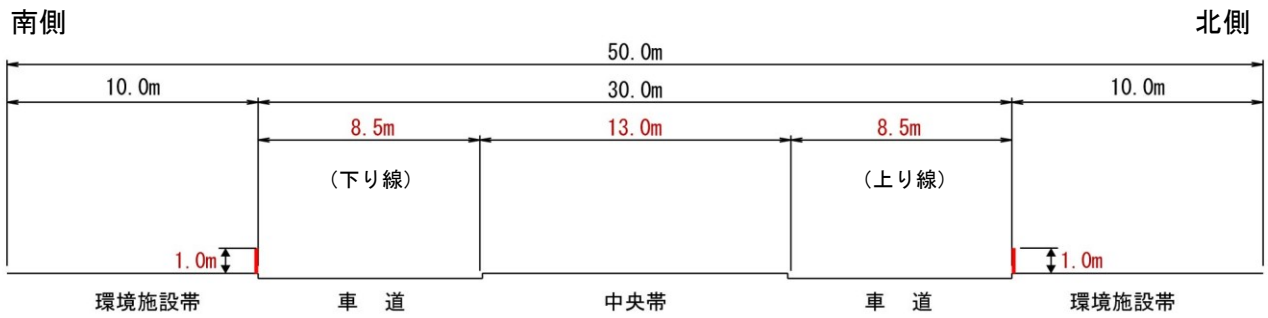
【変更前】



凡例
| : 遮音壁

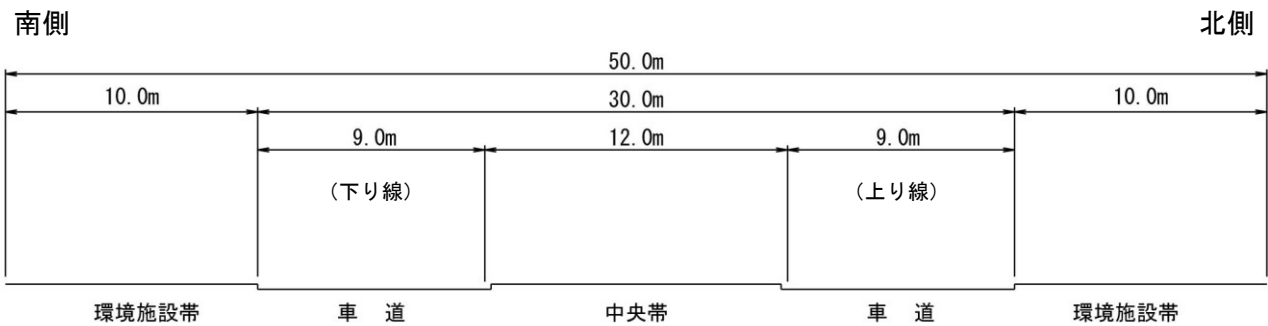
図 5-2(2) 予測地点断面図 (No.2)

【変更後】



※赤文字は変更箇所を示す。

【変更前】



凡例
 : 遮音壁

図 5-2 (3) 予測地点断面図 (No.3)

表 5-2 事業の工程【変更後】

項目	平成 23年 度 (2011 年度)	平成 24年 度 (2012 年度)	平成 25年 度 (2013 年度)	平成 26年 度 (2014 年度)	平成 27年 度 (2015 年度)	平成 28年 度 (2016 年度)	平成 29年 度 (2017 年度)	平成 30年 度 (2018 年度)	平成 31年 度 (2019 年度)	令和 2年度 (2020 年度)	令和 3年度 (2021 年度)	令和 4年度 (2022 年度)	令和 5年度 (2023 年度)
用地取得	[Redacted]												
道路 工事	一般 部												
	橋梁 部												

表 5-3 事業の工程【変更前】

項目	平成 23年 度 (2011 年度)	平成 24年 度 (2012 年度)	平成 25年 度 (2013 年度)	平成 26年 度 (2014 年度)	平成 27年 度 (2015 年度)	平成 28年 度 (2016 年度)	平成 29年 度 (2017 年度)	平成 30年 度 (2018 年度)	平成 31年 度 (2019 年度)	令和 2年度 (2020 年度)	令和 3年度 (2021 年度)	令和 4年度 (2022 年度)	令和 5年度 (2023 年度)
用地取得	[Redacted]												
道路 工事	一般 部												
	橋梁 部												

5.2 事業の進捗状況

本事業は、平成 23 年度から用地取得を進めているが、用地取得に伴い移転となる権利者等の生活再建も考慮しながらの用地取得を進めており、既定の事業計画に合わせた用地の取得が遅れている。

現在、事業区間内の約 74%（令和 2 年 3 月末時点）の土地を取得するとともに、平成 27 年度からは一般部の道路工事として、工事用搬入路の設置に着手し、令和 2 年度からは橋梁部の工事に着手するなど、令和 5 年度（2023 年度）の完成に向けて工事を進めている。